

平成30年度「進学指導重点校事業」実施計画書

進路指導部

1 研究主題

高い意識をもち、難関大学を目指す生徒の進路実現をサポートするための研究。

2 研究主題設定の理由

例年、本校普通科では名古屋大学と岐阜大学を志望する生徒がそれぞれ約60名、名古屋工業大学と名古屋市立大学の志望者もそれぞれ約30名おり、全体の過半数の生徒がこの4大学への進学を希望しているが、この2年間の前期出願者数は下記の通りである。

※名大(21,21)、岐大(51,68)、名工大(22,17)、名市大(12,6) * (H29,H30)

一方で、センター推薦を含む合格者数は、名大(13/21,14/21)、難関10大学(15/27,20/31)と出願者のほぼ3分の2が合格を果たしている。

また、多くの教員が本校生徒を「まじめで優しい」と評価している。生徒の能力を充分引き出すためには、生徒の「自信」を一層高め、自らすすんで学習に取り組む姿勢の育成が不可欠だと考える。

本事業を通してより多くの生徒が進路目標を達成できるよう、生徒の「自信」や「セルフイメージ」を高めることにより「学力の定着・向上」を図るとともに、教員の指導力向上を目指して研究主題を設定した。

3 研究計画

(1) セルフイメージを高められる講演会①

- ・対象：全学年（全員）
- ・日時：7月10日（火） 6，7限
- ・ねらい：目標の立て方やアプローチの仕方など目標を達成するための手順やメンタルスキルについて学び、セルフイメージを高める機会とする。

(2) セルフイメージを高められる講演会②

- ・対象：教員
- ・日時：7月6日（金） 15：30～17：00
- ・ねらい：生徒のやる気を起こし、自信、セルフイメージを高めるために必要なサポートについて学ぶ。

(3) 外部専門業者による学習支援①

- ・対象：1～2年生（希望者）及び教員
- ・時期：9月、10月又は3月
- ・ねらい：外部模擬試験（全統模試）を受験した生徒（希望者）に対して、外部専門業者による解説及び学習方法についての助言をしてもらう。
※1教科90分×4コマ（2教科×1回×2学年＝4コマ）
∴実施する時期と教科は、1,2年学年会の希望で決定する。

(4) 外部専門業者による学習支援②

- ・対象：3年生（希望者）及び教員
- ・時期：7月保護者懇談期間～
- ・ねらい：映像講座を視聴し、受験に必要な十分な応用力、実戦力の完成を目指す。
※6単位（50分×6コマ）×7講座
∴どの教科のDVDを購入するかは各教科の意見も踏まえ、3年学年会で決定する。

(5) 外部専門業者による教員研修①

- ・時期：夏休み又は冬休み
- ・外部業者主催の大学入試問題研究等の講座を受講し、教員の力量向上を図る。
※駿台又は河合塾主催の教育セミナーに計6名参加（5教科各1名＋1名）
∴＋1名は、原則、理科と地公科の輪番とする。
∴各教科会で受講者を決定

(6) 外部専門業者による教員研修②

- ・時 期：3月
- ・外部業者主催の大学入試問題研究会に参加し、教員の力量向上を図る。
※駿台主催 京大・阪大・神大入試問題研究会に5名参加（5教科各1名）
∴各教科会で受講者を決定

(7) 難関大学の見学

- ・対 象：2年生（希望者）
- ・時 期：8月上旬

※大阪大学見学（引率：進路指導部教員4名）

9:30 吹田キャンパス集合 大学概要説明 → 核物理研究センター、レーザー科学研究所見学
→ 豊中キャンパスへ移動 →（卒業生との懇談）→ 総合図書館、総合学術博物館見学
→ キャンパス内自自由散策 → 16:30 豊中キャンパス解散

(8) 先進校視察

- ・名古屋大学への合格実績が高い愛知県内の高校の視察を行う。（普通科教員2名）
- ・東京都立総合芸術高等学校の視察を行う。（音楽科教員2名）

(9) その他